

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	KOKO館	公表日	R8年 2月 13日		
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	適切である。利用者に合わせてスペースで過ごしている。	椅子やベッドがあってもよい。
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員が配置数は適切であるか。	4	2	職員の変更の頻りに備前や職員が不足する場合はある。その場合は、研修や職員に声をかけたりして対応している。またSMSでの連絡を通して求人を行っている。	常に利用者が来たときの職員の人数が少ない。理由によって職員が足りない。
3	発達支援は、子どもにわかりやすく提供された環境になっているか。また、事業所の設備等は、児童の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	5	1	利用者の特性に合わせて小上がりフロアを設けている。	常に利用者が来たときの職員の人数が少ない。理由によって職員が足りない。
4	発達支援は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	利用者さんが増えた際には、毎日掃除、消毒、消毒を行っている。また寒い寒い場合はカーペットを交換して清潔にしている。	広いため、冬は冷気が部屋の下に溜まり、床に暖かさが伝えないため、空気を循環するなどの対応が必要。
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	ベント、小上がり、個室（長く寝るに過ごせる）がある。利用者さん状況によっておんねん室で過ごせるようになっている。	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	1	定期的にミーティングを行ったり、ヒヤリハットやインシデント等、共有できる情報、報告を行っている。	委員会を設け、進めている最中である。
7	保護者向け研修会により、保護者等の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け研修アンケートを実施している。その結果を基に改善するよう努めている。	
8	職員の見学等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティングや日々の朝礼などで職員から意見を集め、業務改善につなげている。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者機関による評価は行っていない。	今後実施していくか考えていく必要がある。
10	職員の能力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	支援課や外部からの研修情報から研修、受講案内をしている。またソフトウェアカデミーの研修も活用し、受講する機会がある。	更に機会を増やしていく必要がある。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページで公表している。	年1回程度の見直しをしていく必要がある。
12	程々のことに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を定期的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	アセスメントシートの活用と送達時に保護者のこととコミュニケーションをとり、ニーズや課題を聞き、計画書を作成している。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最新の情報を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全員で意見を出し合い、共有、理解した上でアセスメントし検討が行われている。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	毎日の様子や個別記録に記入する際にも、一緒に確認し、職員が計画に沿っているようにしている。	
15	子どもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットやアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	発達支援の5領域に合わせて状況を整理し、アセスメントしている。	標準化されたツールを用いたアセスメントを使用しているが理解できていない職員もいるため、全員が理解できるように周知する必要がある。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれも盛り込まれているが、子どもの支援に必要な支援が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	モニタリング会議で広く職員の見学を集め、利用者に対して統一した関わりができるようになっている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	朝礼担当が前日に活動内容を決定している。当日の朝礼時に今日はこの活動をしよう！と意見を話し合っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎日同じ活動にならないよう、順序や遊ぶものの内容など、利用者さんがいない日に作成している。	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	平日は個別の活動になることが多いが、長期休暇時や休みの日は集団活動もしている。	利用者が少ないため集団活動ができていない。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼を行い、その場で確認している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか。	5	1	翌日の朝礼で、前日の問題点等の振り返りを行っている。	支援の振り返りはない。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個別記録を抜き、定期的に個別会議を行って検証・改善に繋がっている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
24	児童発達支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との協議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者のみではなく、看護師やPT/OT/STも参加している。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		主治医や連携先等は把握しているが、密に連携が取れていない。体制を整えていく必要がある。
26	移行期や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	相互支援員等を中心に情報共有している。	
27	学校等の移行の際は、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	現在は対象者がいないが、対象者がいる場合に共有を行う。	
28	(28～30は、センターのみ回答)				
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を取り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	1	1		
30	質の向上を図るため、積極的に専門事や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1		
31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
32	(31は、事業所のみの回答)				
33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	研修があれば、管理者が他職員に対して必要な情報を発信している。	
34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で子どもと活動する機会があるか。	2	4	外出活動を行い、地域の方との交流を増やしている。	現在は行っていない。他の児童との交流を増やしていく必要がある。
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送達時に情報交換を行っている。保護者から頂いた情報は朝礼時に共有し、共有できているようにしている。	今後行っていく必要がある。
36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
37	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	説明時に行っている。	定期的、変更時は改めて説明する必要がある。
38	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最新の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	説明時やイベント参加時に状況や意向などを聞いている。	
39	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	同意が得られず丁寧な説明し、同意を得ている。	
40	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	説明時に、保護者からの相談を把握している。	子供の課題に合う機会がない保護者は、電話連絡でのコミュニケーションをとる。連絡帳に記入などを書くスペースを設けている。
41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		参加する予定のイベントを、お祭り(園だよ)を通して事前に保護者に伝え、興味があるのならば参加してもらおうとすることで、保護者や兄弟との交流を増やしている。
42	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に相談し、相談や申し入れがあった場合に速やかかつ適切に対応しているか。	6	0	連絡や意見があった場合は、速やかに連絡帳や記録による記録、説明し改善へと繋がっている。	
43	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動観察や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	SNS、お祭りなど活用し発信している。	
44	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	6	0	写真や名前等の掲示についての許可を得ている。	
45	障壁のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	説明時には必ず、その日の様子、状態を伝えるようにしている。	
46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	2	3		企画等を考慮すると事業への招待は難しいが、地域のイベントに参加するなどの事業について取り組んでいる。
47	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		事故、緊急、感染症それぞれマニュアルの策定し、改善をそれぞれの委員会で行っている。
48	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	自立支援課の責任者などの役割等について研修に参加し、参加した職員から参加できなかった職員へ共有するようにしている。	BCPの認識を高める必要がある。研修や訓練などを行っていく。
49	定期的に、簡業や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	6	0	説明時にタブレットで記入済み、情報を確認できるようにしているが、その日体調や個人でわかるよう、スタッフ一人一人、保護者へ確認し、注意を促すようにしている。	
50	食料アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	0	説明時にタブレットで記入済み、情報を確認できるようにしているが、その日体調や個人でわかるよう、スタッフ一人一人、保護者へ確認し、注意を促すようにしている。	
51	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		もう少し研修や訓練を行っていく必要がある。
52	このほか全職員に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	委員会を設けた。	委員会を設けて、必要事項があれば連絡帳を通じて緊急を止めたとこ。
53	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	インシデントやヒヤリハットについては報告書を作成し、ヒヤリハットや項目の報告が行われていて定期的改善、振り返りにて再発防止を行っている。	報告書がないよう、報告の小さな出来事も別の対応を必要と記入する仕組みをつけるようにしている。
54	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	ソフトウェアカデミーでの研修や委員会を設けている。	委員会を設けて、必要事項があれば連絡帳を通じて緊急を止めたとこ。
55	どのような場合にもYDを身子持束束を行う方について、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	個別支援計画に必要とした場合の対応として、事前と注意点を記入し、保護者様にも説明、承諾を得ている。	